

本宮市民生児童委員協議会

(平成 27 年 1 月)

(1) 地域の状況

本宮市は、福島県のほぼ中央に位置し、いにしえより交通の要衝として栄えました。現在は、東北自動車道・本宮インターチェンジを有し、磐越自動車道と交差する郡山ジャンクションにもっとも近いことから、「陸の港」として重要な位置を確保しています。

総面積 87.94 平方キロメートル 総人口 30,515 人 世帯数 9,872 世帯

(2) 本宮市の被災状況

東日本大震災では、本宮市は震度 6 弱の地震に襲われました。

人的被害は無かったものの、被害棟数合計は 4,465 棟でした。

(内訳：全壊 96 棟・大規模半壊 75 棟・半壊 293 棟・一部損壊 4,001 棟)

(3) 民生委員・児童委員の構成

本宮方部 52 名 (うち主任児童委員 3 名)

白沢方部 18 名 (うち主任児童委員 2 名)

(4) 震災直後からの民生委員・児童委員の活動

3/11 災害直後より担当地区の要援護世帯を訪問し、安否確認を行なう

3/13～4/6 社協災害ボランティアセンターへの協力

避難所への炊き出し・家の中の片づけ・避難者の住居確保のための
清掃活動・義援金への呼びかけ など

3/14 要援護世帯の生活ニーズ調査を行なう

・家の中の片づけは必要か (寝る場所は確保されているか)

・食糧や暖房燃料 (灯油) は足りているか など

電話が不通のため、社協 (民児協事務局) まで足を運び報告する。

3/18 要援護世帯へ支援物資 (乾麺・パン) を配布

7 月～8 月 応急仮設住宅への生活物資搬入活動へ協力

以降は、社協で実施する主に浪江町からの避難者支援行事等へ協力。

また、避難元社協・民児協と連携し、借上げ住宅等の同行訪問を実施し、把握に努めている。

(5) 終わりに

全国の民生委員・児童委員の皆様から多大なるご支援等をいただき、大変感謝しております。心より御礼を申し上げます。